

調査のポイント (筒川編)

調査のポイント

木柵工 (ちくさくこう)
H

木工沈床-水制 (もっこうちんしょう-すいせい)
G

平瀬 (ひらせ)
アユ ウグイ
ハゼのなかま

早瀬 (はやせ)
アユ ハゼのなかま
★アユカゲがいるかも?

木柵工-横断 (もっこうちんしょう-ようだん)
淵 (ふち)
コイ タモロコ
フナ ウグイ
★大型がいるかも?

木柵工 (ちくさくこう)
F

テトラポット
E

平瀬 (ひらせ)
アユ ウグイ
ハゼのなかま

早瀬 (はやせ)
アユ ハゼのなかま
★アユカゲがいるかも?

捨石 (すていし)
D

木工沈床-水制 (もっこうちんしょう-すいせい)
C

平瀬 (ひらせ)
アユ ウグイ
ハゼのなかま

葦 (よし)
B

平瀬 (ひらせ)
アユ ウグイ
ハゼのなかま

木柵工 (ちくさくこう)
A

きろく 記録してみよう

タモ網や釣り、セルピンでつかまえたり、アユのはみあとをみつけたときは、記録用紙に記入してみよう。

きろくようし 記録用紙 (タモ網・アユのはみあと用)

しらべた人 ^{ひと}	
---------------------	--

とれたものの名前^{なまえ}としらべたエリア^{きろく}を記録しよう!

	とれたものの名前 ^{なまえ}	しらべたエリア
きにかうれい (記入例)	ウグイ	B
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		

きろくようし (つり、セルビン用)

しらべた人 ^{ひと}	
しらべたエリア	A B C D E F G H

とれたものの名前と数 (合計) を記録しよう!

とれたものの名前 ^{なまえ}	とれた数 ^{かず}	ごうけい 合計
きじゅうれい (記入例) ウグイ	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	12
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	
	正 正 正 正 正 正 0 10 20 30	

つつかわ おも さかな
筒川にすむ主な魚たち

つつかわ み さかな
筒川でよく見られる魚たち



ウグイ

ぜんちょう やく ていと かわは、じょうりゅう
全長は約30~50cm程度になる。川では、上流
かこう ひろはんい せいぞく おも ふち
から河口までの広い範囲に生息します。主に淵
などたんどくにすみ、単独または群れで動き回るものが
おほい
多いです。
せ おお いし ぼしょ
瀬でも大きい石のごろごろしている場所では
その下に生息しています。



シマヨシノボリ

ぜんちょう やく ていと
全長は約7cm程度になる。
かわ ちゅうりゅう せいぞく せいぎょ おも せい せいぞく
川の中流に生息します。成魚は主に瀬に生息
し、ひるき昼間は流れの中央に出て活動し、夜間は
きしべ やすみ
岸辺で休みます。
ふか しぎょ うみ くだ すうかげつ す
孵化した仔魚は海に下って数ヶ月を過ごし、
ぜんちょう ていと せいちよう かわ
全長1.5~2cm程度に成長して川をのぼって
きます。



ヌマチチブ

ぜんちょう やく ていと かわは、ちゅうりゅういき
全長は約15cm程度になる。川では、中流域か
かこう ひろはんい せいぞく おも いし
ら河口までの広い範囲に生息します。主に石がゴ
ロゴロしている場所ぼしょに生息します。同じ仲間でチ
チブがいますが、見分け方はむずかしい。
ヌマチチブは、もともとは、つつかわ さかな
筒川にはいない魚
で、がいぶ くに ちこ さかな
外部(国内)から持ち込まれた魚です。



コイ

ぜんちょう やく ていと
全長は約100cm程度になる。
おほい かわ ちゅうりゅう かりゅう きすい かわ みず うみ
大きな川の中流から下流、汽水(川の水と海の
みず まみずうみ ぬま せいぞく
水が混ざるところ)、湖や沼などに生息しま
す。川の中流では大型の淵に生息し、下流や
いけ ぬま ぜんめん せいぞく
池・沼では全面に生息します。
ふゆ
冬はやや深い部分に集まります。



アユ

ぜんちょう やく ていと かわ かりゅう あき
全長は約18~30cm程度になる。川の下流で秋
にさんらん しぎょ うみ くだ よくねん ばる
に産卵し、生まれた仔魚は海に下り、翌年の春
に川を群れになってのぼってきます。
かわ ちゅう じょうりゅう たつ かわほり も
川の中・上流に達すると、縄張りを持つよ
うになり、いし ついた コケを 食べます。

つつかわ ふつう み さかな
筒川で普通に見られる魚たち



タモロコ

ぜんちょう やく ていと
全長は約10cm程度になる。

ちゅうりゅう かりゅう かけの よど みず なか
中流から下流にかけての淀んだ水の中ほど
や底に生息しています。浅い池・沼や、
ようすいろ せいぞく あさ いけ ぬま
用水路などにも生息しています。水田の中にも
います。みずくさ も なか おお
水草や藻の中にも多く、あまり移動し
ません。



ゴクラクハゼ

ぜんちょう やく ていと
全長は約8cm程度になる。

かりゅう きすい かわ みず うみ みず ま
下流や汽水(川の水と海の水が混ざるところ)の
すな こいし ま せいぞく きすい
砂と小石の混じったところに生息する。汽水で
はえんぶん うすい ところ おお かりゅう な
塩分の薄いところに多く、下流では流れのな
い場所に多く生息します。ちゅうりゅう じょうりゅう
中流や上流へは
ほとんどあがりません。



ボラ

ぜんちょう やく ていと
全長は約60cm程度になる。

せいぎょ えんかん あさ せいぞく
成魚は沿岸の浅いところに生息しています。
10～1月ごろ、つしまんりゅうのながる うみ へいどうし、
そこでさんらん します。ふか した しぎょ うみ
孵化した仔魚は海の
ひょうどうきん せいかつ する
表層付近で生活しますが、冬から春にかけて群
れをなしてかわ へい
れをなして川へ入ってきます。



サケ

ぜんちょう やく ていと
全長は約70cm程度になる。

かわ うみ かいゆう さかな あき うみ かわ
川と海を回遊する魚で、秋になると海から川に
いどう さんらん たまご ちぎょ
移動し産卵します。卵からかえった稚魚は、2～
かげつつかわ なか せいかつ する
3ヶ月川の中で生活し、春になると海におりて、北
のうみ ねんかんせいかつ ふたご う かわ
の海で4年間生活したあと、再び生まれた川にも
とってきます。つつかわ がつころ かわ
筒川では、11月頃に川にもとって
きます。



ウキゴリ

全長は約13cm程度になる。

川の中流～下流の流れのゆるやかなところや湖
に生息し、水生昆虫や小魚、エビ類などを食べる。
5月～6月ごろに産卵します。その名のとおり、中
層～表層に浮かんで泳ぐことが多い。

つつかわ
筒川では、なかなか見られない魚たち



千千フ

全長は約8cm程度になる。

河口や下流の、石のごろごろした場所などに集まり、隠れ場をひとり占めすることもあります。雑食性で藻や、小型の魚などを食べます。近年、千千フにしているヌマ千千フの侵入によって、生息場をおいだされている。



ギンフナ

全長は約25cm程度になる。

日本全国の川の中・下流や池などに広く生息しています。流れのゆるやかな淵や水草がしげっている場所にいます。筒川では、過去に水が汚くなり、ギンフナが少なくなりましたが、最近、少し個体数が増えました。



ドジョウ

全長は約10cm程度になる。

水田や湿地などに生息しています。用水路が整備されていない水田が近くにあれば、かなり上流にもいます。雑食性です。近年、用水路が整備されたり、農薬の散布により全国的に個体数が減少しています。



スミウキゴリ

全長は約9cm程度になる。

川の下流～汽水域に生息する。ウキゴリと比較すると、ウキゴリより下流域に生息する。5月～6月ごろに産卵します。その名のとおり、中層～表層に浮かんで泳ぐことが多い。



アユカケ

全長は約25cm程度になる。

日本海側に多く川の中流域の石のごろごろしている場所にいますが、産卵のときには川の流れの沿岸に生息します。姿に似合わず活発に動いて、アユなどの魚をエサとします。

つつかわ み さかない がい せいぶつ
筒川で見られる 魚 以外の生物たち



モクスガニ

甲羅の幅は約60mm程度になる。

はさみや足にふさふさした長い毛が生えています。川の上流から河口まで広く生息しています。夏の終わりから秋に川を下り、河口から沖合に出て産卵します。生まれた幼生は川をさかのぼって成長します。



ヌマエビ

体長は約30mm程度になる。

体の色は、緑褐色から褐色まで様々である。川や湖、沼など広く分布する。水草や水辺の植物の周辺などの陰にみられる。



スジエビ

体長は約55mm程度になる。

生まれたときは透明であるが、黒褐色のしま模様がある。

池・沼・湖などに生息する。ときには汽水(川の水と海の水が混ざるところ)にも生息し、河口域から上流域にまで分布する。



アメリカザリガニ

体長は約100mm程度になる。

河川、池・沼、水田、用水路などの、止水や流れの緩やかな浅い底が泥のところに生息する。水際の泥に穴を掘ってすむ。



カワニナ

淡水にすむ細長い巻貝で、ゲンジボタルのエサとなることが知られている。

主に川や水路に見られるが、汚い水のところでは少ない。落ち葉や石の表面のコケなどを食べる。

